

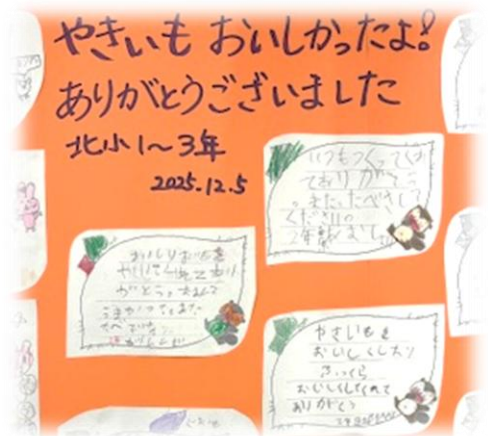
未来に向かって 自ら羽ばたける北っ子！

～考え動く 人とつながる 未来を創る～

感謝の気持ちを伝えよう 今年もありがとうございました

保護者の皆様、地域の皆様、今年も本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。北っ子達は、さちよの方々の本当に多くの支えによって心豊かに育っています。

子ども達は、先日の花火大会の後も、「ほんまにきれいやった」「すごかった」と口々に言っていました。コロナの後、多くの地域で行事が消滅している中、ここまで盛大に打ち上がる花火を見て、私自身も、こんな地域で働かせていただいていることに感謝と誇りを感じました。子ども達には、お世話になっている地域の方には、「ありがとう」やあいさつで感謝の気持ちを伝えようと言っています。将来どこに居ても、自分の住むコミュニティで人とうまく関わって生きていくことが人生を豊かにしていくと思っています。どうか、これからも、北っ子をよろしくお願い致します。



人権学習を進めています(6年)

6年生が、人権学習を進めています。

12月2日(火)、校外人権学習として、さちよ自治振興会様にお世話になり、奈良県の水平社博物館へ出かけました。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」の水平社宣言が生まれた地での学習です。

現地到着後は、まず水平社博物館を見学しました。ワークシート



に書き込みながら熱心に見学しました。午後からはフィールドワークとして燕神社等を回った後、西光寺で、西光万吉さんの弟の孫にあたる清原隆宣さんから人権についての「ものさし」の話を聴きました。その思いは、6年生の心にしっかり届いたようでした。地域やPTAからもご参加いただき、一緒に学ぶことができました。ありがとうございました。

そして、12月9日(火)には、氷上町5校の小学6年生が集まり、人権について話し合いました。まず、氷上中の「とものわ」活動の中から夜間中学の話を聴きました。そして、10班に分かれ、「夜間中学はなくてはならないけど、あってはいけなないもの」という言葉の意味や「誰もが安心して暮らせるクラス」について話し合いました。12月17日(水)には、10月にも来ていただいた細田哲子先生に再度来ていただき、「差別をなくすためにはまず自分を大切にする」ことを聴き、2月3日(火)の人権発表会に向けて学びを深めています。西光寺住職の清原さんは、「まちがったものさしを見抜く力をつけよう」とおっしゃってくださいました。その思いは6年生の心に届いています。

【6年生感想より】

- ◆これからは「人にもものさしを向けない」「一人にしない」を心にとめて、いいクラスにしていきたいと思います。
- ◆水平社博物館を見学して、差別をゆるさない気持ちがよくわかりました。人間が人間らしく生きられるような世の中を作っていこうという努力が伝わりました。次は、若い私たちが時代をつくる番なんだと思いました。